

2019年度 桐蔭高校 授業シラバス

科 目 名		単 位 数	学年 履修 学科	使用教科書	使用副教材
家庭基礎		2	2 普通科 数理科学科	新家庭基礎 実教出版	生活学Navi 資料＋成分表 実教出版
評価 規 準	・家庭生活や地域の生活に関心を持ち、その充実・向上のために意欲的に取り組むとともに、実践的な態度を身につけているか。 【関心・意欲・態度】 ・家庭や地域の生活について思考を深め、課題を見つけて適切に判断し、解決のために工夫し、創造する能力を身につけているか。 【思考・判断】 ・家庭や地域の生活を充実・向上させるための基礎的、基本的な技術を身につけ、それを的確に表現することができるか。 【技能・表現】 ・家庭生活の意義や役割を理解し、家庭や地域の生活を充実・向上させるための基礎的、基本的な知識を身につけているか。 【知識・理解】				
評価 方法	定期考査、実習の実技・作品、授業・実験・実習への参加の仕方や態度、各種提出物等、総合的に評価する。				
年 間 授 業 計 画					
学期／月		単元名 学習事項等			到 達 目 標
1 学 期	4月	第 1 編 人とのかかわって生きる 第 1 章 自分らしい生き方と家族 1 自分を見つめる 2 パートナーと出会う 3 家族って何だろう 4 家族と法律 5 生活を支える仕事と生活時間			・人の一生を生涯発達の視点でとらえ、各ライフステージの特徴と課題について理解し、家族や家庭生活の在り方、共に支えあって生活することの重要性について認識する ・生涯を見通した自己の生活について考え、主体的に生活を設計する ・乳幼児の心身の発達と生活、親の役割と保育、子どもの育つ環境について理解し、子どもを生み育てることの意義を考えるとともに、子どもの発達のために親や家族及び地域や社会の果たす役割について認識する ・被服管理に必要な被服材料、被服構成などの基礎的・基本的な知識と技術を修得し着装を工夫し、健康で快適な衣生活を営むことができる
	5月	第 2 章 子どもとかかわる 1 子どもを知る 2 発達のすばらしさ 3 子どもの生活 4 親になることを考えよう 5 すこやかに育つ環境			
	6月 7月	第 2 編 生活をつくる 第 3 章 衣生活をつくる 基礎縫いを取り入れたエプロン製作 桐蔭展出品作品とする			
	8月	ホームプロジェクトと学校家庭クラブ活動 製作エプロンの合評会			・自己の家庭生活や地域の生活と関連付けて生活上の課題を設定し、解決方法を考え、計画を立てて実践することを通して生活を科学的に探求する方法や問題解決の能力を

2 学 期	9月	第2編 生活をつくる 第1章 食生活をつくる 1 私たちの食生活を見つめる	身に付ける ・健康で安全な食生活を営むために必要な栄養、食品、調理及び食品衛生などの基礎的・基本的な知識と技術を修得し、生涯を見通した食生活を営むことができる ・消費生活の現状と課題や消費者の権利と責任について理解し、適切な意思決定に基づいて行動でき、生涯を見通した生活における経済の管理や計画について考える
	10月 11月 12月	2 栄養と食品のかかわり 3 食品の選び方と安全 4 食事の計画と調理 5 これからの食生活を考える 調理実習 第3編 消費者として自立する 第1章 消費行動を考える 1 主体的な消費行動 2 消費者の権利と責任 3 資源・環境を考える	
3 学 期	1月	第2章 経済的に自立する 1 経済のしくみを知る 2 計画的にお金を使う	・住居の機能、住居と地域社会とのかかわりなどに必要な基礎的・基本的な知識と技術を修得し、安全で環境に配慮した住生活を営むことができる ・高齢期の特徴と生活及び高齢社会の現状と課題について理解し、高齢期の自立生活を支えるために家族や地域及び社会の果たす役割について認識する ・生涯を通して家族・家庭の生活を支える福祉や社会的支援について理解し、家庭や地域及び社会の一員としての自覚をもって共に支えあって生活をすることの重要性について認識する
	2月 3月	第3章 住生活をつくる 1 人と住まいのかかわり 2 快適な住まいづくり 3 健康的で安全な住まいの環境 4 よりよい住生活を創造する 第3章 高齢者とかかわる 1 高齢社会に生きる私たちの暮らし 2 歳を重ねるということ 3 豊かな高齢期を迎えるしくみ 第3章 社会とかかわる 1 支えあう暮らしとは 2 地域で暮らす、みんなで暮らす	